

韓国青年訪日団（第2団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的】「対日理解促進交流プログラム(JENESYS)」の一環として、在大韓民国日本国大使館にて選抜された高校生等を招へいし、テーマ「日本の防災対策（長野県飯田市の事例）」の下、テーマに沿った講義聴講、学校訪問、ホームステイ等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】 プレプログラム（オンラインによる事前学習） 韓国の高校生等 30名
招へいプログラム 韓国の高校生等 30名

【訪問地】 プレプログラム 東京都 30名
招へいプログラム 東京都、長野県、愛知県 30名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習事）：

7月18日（火） プログラム説明、事前学習事項伝達、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

7月25日（火） 羽田国際空港より入国、オリエンテーション

7月26日（水） 【講義】「新しい日韓関係」

【視察】 李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

7月27日（木） 長野県へ移動、【表敬】 長野県飯田市役所

【講義・視察】 飯田市の防災対策と防災施設（飯田市防災倉庫、危機管理室等）

7月28日（金） 【講義】 飯田大火とりんご並木（フィールドワーク含む）

【学校訪問・交流】 長野県飯田風越高等学校

7月29日（土） 【講義】 三六災害と天竜川（フィールドワーク含む）、

【交流】 ホームステイ

7月30日（日） 【交流】 終日ホームステイ

7月31日（月） 【視察】 天竜川周辺

【講義】 飯田市の防災対策（ワークショップ含む）

8月1日（火） 愛知県へ移動、【視察】 トヨタ産業技術記念館

成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

8月2日（水） 中部国際空港より出国

2. 記録写真



2023年7月26日【講義】「新しい日韓関係」



2023年7月27日【表敬】長野県飯田市役所



2023年7月27日【講義・視察】飯田市の防災対策と防災施設（防災倉庫、危機管理室等）



2023年7月28日【講義】飯田大火とりんご並木（フィールドワーク含む）



2023年7月28日【学校訪問・交流】長野県飯田風越高等学校



2023年7月29日【講義】三六災害と天竜川（フィールドワーク含む）



2023年7月29日【交流】ホームステイ対面式



2023年7月31日【講義】飯田市の防災対策（ワークショップ含む）

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 高校生

今回のテーマである防災対策について、日本各地からお手本とされている飯田市役所内の防災設備を見学し、関連する場所に直接足を運び体感することで、防災システムの最前線に触れることができました。

◆ 韓国 高校生

元々日本にそれほど関心がありませんでしたが、日本の街を歩き、思いもよらない縁に出会い、韓国の文化と比較できたことで、日本をもっと知りたいと思うようになりました。またインターネットでは伝わらない韓国との違いを体感できたことで、訪日する前よりも日本文化について深く理解することができました。

◆ 韓国 高校生

学校訪問やホームステイなどの交流をとおり、日本に友人を作ることができ、知識として知っていた日本の文化や家庭料理を体験することができました。交流により国籍は違いますが、似ているところがたくさんあるということがわかりました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 長野県飯田市関係者

初めて韓国からの高校生を受け入れました。彼らの中には日本語を十分に理解し、話すこともできる生徒が多く感心しました。皆さんには、市街地のほとんどを過去に火災で焼失し、その後地元中学生の熱意によってつくられた「りんご並木」と共にまちが復興していった歴史や、豪雨による災害からの復興について紹介し、自分自身が災害から命を守るためにどのような努力をするべきかを考えてもらうためのワークショップを実施しました。ワークショップにおいて、他のメンバーと協力しながらアイデアを出し合い、真剣に取り組む姿が印象的でした。

◆ 飯田市ホストファミリー

迎え入れる皆さんの日本語が上手で驚きました。孫（高校3年）も韓国の学生が来てくれるということで遊びに来てくれ、皆さんと一緒に書道をしました。帰る日の朝食は彼女たちが韓国料理を披露してくれるということで、1時間程かけてキムチチャーハンをご馳走してくれました。

◆ 長野県飯田風越高等学校学生

想像していたよりも日本に対して興味や関心を持ってきている学生が多く驚きました。韓国側の学生代表が挨拶してくれた中で「私たちのこのような交流が続くことで、日韓の仲がさらに深まって行ったら良いと思う」という言葉がとても印象的でした。確かに大々的な交流ではないけれど、お互いの国に興味をもつ学生たちが集まって友達になることで、理解し合える関係を築いていけるのではないかと感じました。

◆ 長野県飯田風越高等学校学生

今まで韓国ドラマやK-POPを聴いていて憧れだった韓国の方と仲良くなって、何度もまるで韓国ドラマの中に入ったみたいだと思いました。そして、この交流で仲良くなった子とは、お互いの国で異なることや共通していることを伝え合い今でも交流を続けています。「いつかまた会おうね！」と約束し合える友達ができるととても嬉しいです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 <p>1/10</p> <p>외지에서 한국인 유학생 분이 송고한 회생을 치루셨다는 사실은 정말 슬펐다. 하지만 그 일이 아직까지 많은 사람들의 마음 속에 기억되고 있음을 생각하니 마음 한 켠에는 응글한 마음마저 들었다. 직접 신오쿠보 역의 추모비에 가서 추모도하니, 나도 이것을 머릿속 한 칸에 소중한 기억해야겠다는 생각이 들었다.</p>	 <p>1/2</p> <p>[DAY2] 오늘은 나가노현에 위치한 이이다시에 방문했다. 이이다시는 일본에서 손에 꼽힐 정도로 대화재가 크게 일어났던 곳이기도 하였으며 여러 자연재해로 사고가 있던 지역이었다. 그래서 그곳에서 오늘 방문한 이이다시 차용에서는 자연재해 관련 대학이나 병원 등이 체계적이며 대비가 잘 되어있다는 생각이 들었다.</p>
<p>2023年7月26日 (Instagram)</p> <p>留学先の日本において、韓国の学生が自らの命を犠牲に人を助けたことを知りとても悲しくなりましたが、今でもたくさんの人々の心の中に生き続けている事を知り心が温かくなりました。新大久保駅構内にある追悼碑を訪問・追悼し、私自身も大切に記憶しておかなければならないと思いました。</p>	<p>2023年7月27日 (Instagram)</p> <p>今日は長野県飯田市を訪問しました。飯田市は過去に大火災や様々な自然災害が発生した地域です。そのため、飯田市役所内は自然災害関連の対策がシステムティックに整備されており、よく考えられていると思いました。</p>
 <p>이곳 건물은 8년 전에 지어졌는데, 발전기가 여러 종류라 콘센트 색이 여러가지라고 한다! 흰색은 발전기를 사용하지 않는 평범한 콘센트 빨강은 비상발전기에 연결된 것, 녹색은 비상발전기, 2차발전기 다 연결된 것, 검정은 태양광 발전기 축전지에 연결된 것이다.</p>	 <p>1/7</p> <p>#한일문화교류 #JENESYS</p> <p>이번 방일단 경험으로 가장 인상 깊었던 것은 단연 고등학생 교류회였다. 일본어 교서로서 국제 교류에 많은 힘을 써야하지만, 아직까지 기회가 없었다. 이번 기회를 통해 역시 학생들이 서로 즐겁게 이야기 나누는 모습을 보니, 도전해야겠다는 생각이 문득 들게 되었다 🥰</p> <p>한일 양국 간 관계를 위해서 민간 차원에서 이러한 교류가 계속 늘었으면 하는 바람이다.</p>
<p>2023年7月28日 (Naver Blog)</p> <p>この建物（飯田市役所）は8年前に建てられて</p>	<p>2023年7月28日 (Instagram)</p> <p>今回の訪日団で一番印象に残っているのは高校</p>

おり、発電機がいくもあるためコンセントもそれに合わせ色で区分されているということが分かりました。白は発電機を使用しない一般コンセント、赤は非常発電機に接続するコンセント、緑は非常発電機と2次発電機に接続できるコンセント、黒は太陽光発電機に接続するコンセントです。

訪問での学生たちの交流です。日本語教師として国際交流に力を注がなければなりません、これまで機会がありませんでした。今回、学生たちが楽しそうに交流をする様子を見ることで、挑戦してみなければという気持ちになりました。日韓両国間の関係のために、このような民間交流が増えることを期待しています。

防災対策に耳傾け 韓国の高校生歓迎、交流も 飯田市

2023年7月29日 (土) 06:00 ▶ 飯田ニュースで見る

お気に入りを見る



市役所で開かれた歓迎式
外務省の対日理解促進交流プログラム「JENESYS (ジェネシス)」の一環で、9日間の日程で来日している韓国の高校生28人が27日、飯田市役所を訪れ、高田修副市長の歓迎を受けた。31日までの5日間滞在し、市の防災対策について学ぶほか農家民泊などを通して交流を深める。
飯田市が訪問先となるのは2018年以降。この日の歓迎式で、高田副市長は人形浄瑠璃や「遠山の舞月祭り」(国重要有形民俗文化財)などに触れた上で「伝統芸能が強い、歴史と文化の薫る街」と紹介した。
訪日は飯田市の取り組みを事前に日本の防災対策を学ぶという、高田副市長は「施策が多い国で飯田市も毎年のように風水害や土砂災害が起きており、防災対策は行政の最重要として外學な課題」と述べた。
学生は代表は「日本について学び、友だちをつくる貴重な機会」と期待を寄せた。
歓迎式後は危機管理課の職員から防災対策と防災施設について講義を受け、防災倉庫などを見学した。



2023年7月29日 (南信州新聞電子版)
「防災対策に耳傾け 韓国の高校生歓迎、交流も 飯田市」飯田市役所を表敬し高田修副市長の歓迎を受けたことや、危機管理課の職員から防災対策と防災施設について講義を受け、防災倉庫などを見学したことが紹介されました。

2023年8月4日 (信濃毎日新聞)
『飯田市で学ぶ災害に学ぶ災害に強い街づくり 韓国の高校生「りんご並木」や天竜川沿いの地域訪問』飯田大火被災後に飯田市東中学校の生徒が植樹し代々管理している「りんご並木」や、三六災害にて浸水被害を受けた天竜川沿いの地域を視察した様子が紹介されました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表 (訪問地：東京都、長野県、愛知県)



<p>【訪日中の学び】 日本の防災対策を飯田市の取り組みから学ぶことにより、日本人の考え方（建設的思考術）や問題への取り組み方について、知ることができました。</p> <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田市では市民に避難情報が伝わるよう、様々な媒体を用いて案内を行っているほか、これまでの被災の経験から、市民の皆さんも積極的に防災への取り組みや街づくりに取り組まれていることが印象深く残りました。 ・避難するにあたり、私たち人間だけではなく、一緒に暮らしているペットに関する消耗品や食料等も準備する必要がある、動物が苦手な人もいるため避難所では配慮が必要ということを知りました。韓国に戻ったら、家族と対策を立てたいと思います。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会った人たちと継続的に連絡を取り合い、日本の様々な文化に間接的に触れ続ける。 ・日本の防災対策や訪日団で経験したこと、日韓の相違点を、所属校にて発表する。 ・ホームステイ先に手紙を送る。 ・飯田市以外の地域の防災対策についても調査する。 	<p>【訪日中の学び】 これからの日韓関係をリードしていく同世代の学生と交流することで、国籍は異なりますが、似ているところがたくさんあることを知ることができ、日本がより身近に感じました。</p> <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯田市の皆さんは避難経路や避難方法について熟知し、これから起こる自然災害に備え、避難キットの準備をはじめ、様々な準備を行っていることが分かりました。 ・飯田市役所内の危機管理センターには発電機毎（普通、太陽光、一次非常用、二次非常用）にコンセントの差し込み部分の色が変えられているなどの様々な工夫が施されており、日本各地からお手本にされていることに納得しました。韓国に帰ったら、このような取り組みについて学校で発表したいと思います。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の大学へ留学するために小論文対策のための日本語学習をする。 ・日本語の勉強を始め、一日単語20個暗記を暗記する。 ・訪日経験を通して感じたことを日本語教師として授業に応用し、安全に関する問題や防災対策を計画し、実践する遂行評価を行う。
--	--

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金